

【第 79 回日本公衆衛生学会総会(2020 年 10 月 20-22 日)オンライン開催について】

参加ご検討の皆様へ：

この度の COVID-19 蔓延に際し亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被患された皆様に心よりお見舞い申し上げます。社会的経済的影響もとても深刻化し、国民皆で協力してこの危機を乗り越えるべき状況となって参りました。

COVID-19 蔓延に対し、日本公衆衛生学会の会員の皆様におかれましては大変ご尽力されているところと存じます。全国各地で人々の健康を守るために自らの心身をすり減らしてご尽力いただいております方々に、大いなる敬意をもって深く感謝申し上げます。

この現状と見通しにおきましては、2020 年 10 月 20-22 日の第 79 回日本公衆衛生学会総会の通常通りの開催は困難と考え、当学会理事会そして当学術総会実行委員会での検討のもと、当初の日程(10/20-22)に沿って、オンライン開催で行うことと致しました。

開催まで半年ございますので、世の中としてもオンライン/遠隔会議がさらに普及しますが、加えて、オンライン/遠隔会議参加に慣れるための情報共有・研修等の機会も、積極的に設けていく所存です。

また、講演やシンポジウムなど学会総会で収録されたものを、終了後のある期間に限定して、参加登録者が視聴できるようにするなど、工夫を重ねていきたいと存じます。

口頭発表、ポスター発表、公募シンポジウム、自由集会、予定通り募集し、それぞれの形でオンラインで行うことと致します。特別講演、教育講演、市民公開講座、学会長講演もオンラインで行います。

オンライン開催ならではの機能を発揮するべく建設的なご提案も数々いただいています。現地開催という物理的な制約も小さくなり、多くの方々の主体的なご提案・企画も実現しやすくなります。資料へのアクセス、海外からの参加、子育て中の参加も、より容易になるなど、いろいろな可能性が出てきます。

「公衆衛生」の重要性が社会的に益々強く認識されてきている現在、様々な制約を乗り越え、力を合わせて「公衆衛生」の実践・研究を発展させていきましょう。

少しでもより有意義な学会総会となるよう、関係者一同努めてまいります。

大変な社会環境の中でございますが、情報収集の場、意見交流の場、成果発表の場として、奮ってご参加ください。

今中雄一

第 79 回日本公衆衛生学会総会 学会長

<http://jsph2020.umin.jp/>